

学校だより 平成29年度 後期学校評価号 平成30年3月14日発行

下鴨

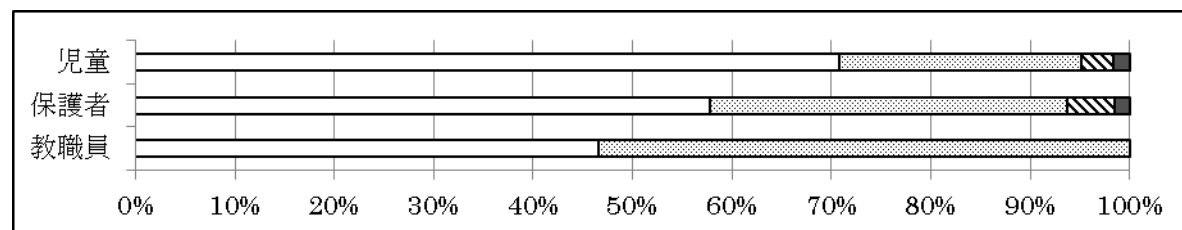
京都市立下鴨小学校 電話 075-781-0382
校長 佐々木 猛 FAX 075-781-6976
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=107709>

平成29年度も間もなく修了式を迎えます。保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じ上げます。また、平素より下鴨小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

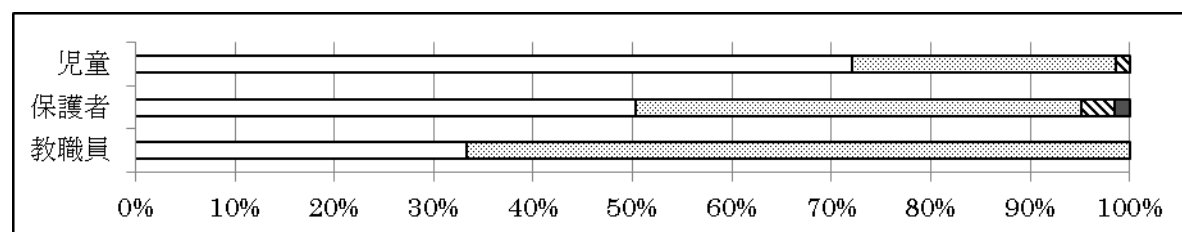
後期の学校評価アンケートの集計ができましたので皆様にお知らせいたします。結果をもとに保護者・地域・学校の連携をさらに進め、来年度の取組に生かして、より良い下鴨小学校にしていきたいと思ひます。

□ そう思う ■ 大体そう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

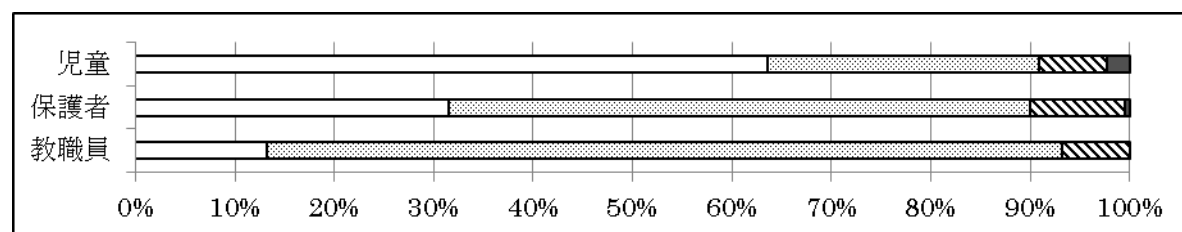
①学校が楽しい・子ども達が楽しく学校に通っている・楽しくすごしている



②友達と仲良く協力できている

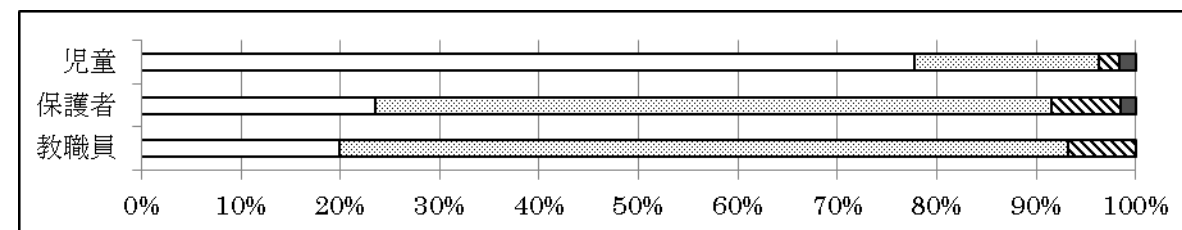


③いろいろなことに挑戦している・挑戦するように働きかけている

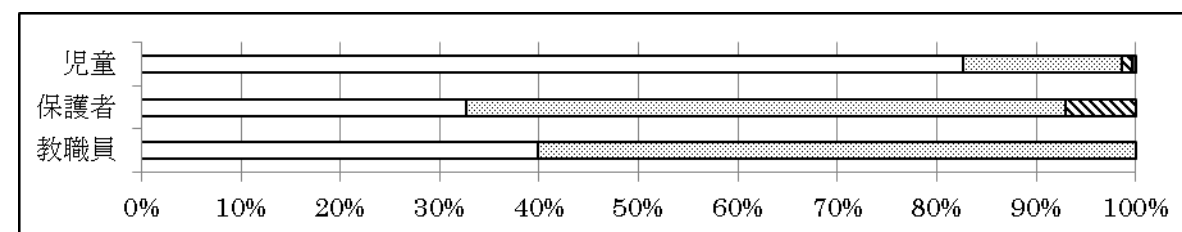


①②③の項目ではそれぞれ90%以上が「そう思う・大体そう思う」と回答されています。しかし、③の項目では10%近くが「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。学校のいろいろな場面で、子ども達が思い切って挑戦できるように、励ましの声かけ等を行っていきたく考えています。

④子どもが大切にされている・している

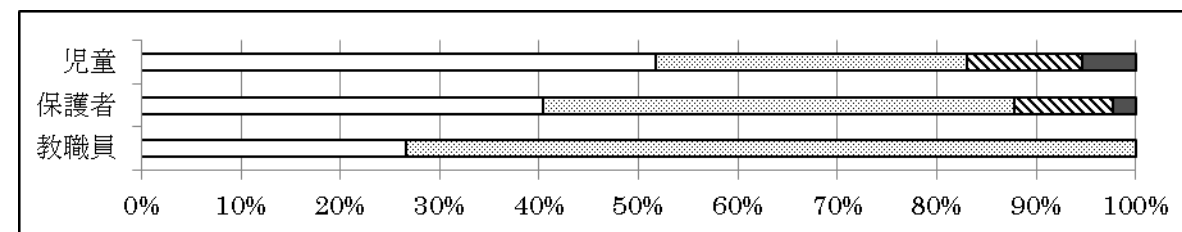


⑤物を大切にしている・大切にするように働きかけている・指導している。



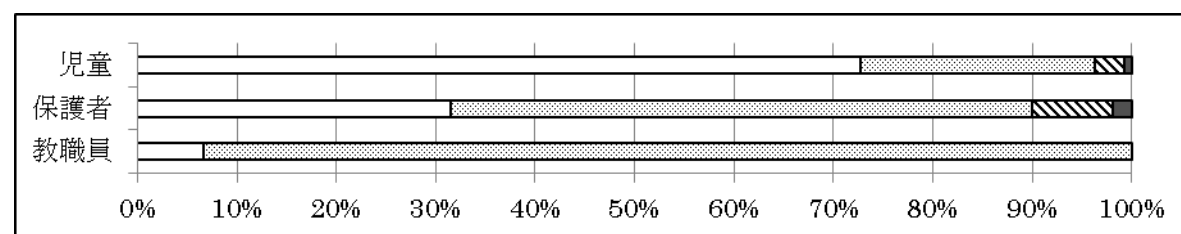
両項目ともに90%以上「そう思う・大体そう思う」の回答となっていますが、大人側からは、「大体そう思う」の割合が大きくなっています。しっかりと意識して、様々な物に対して、人・物を大切に指導を心掛けていこうと考えています。

⑥先生に相談できる・相談にのっている

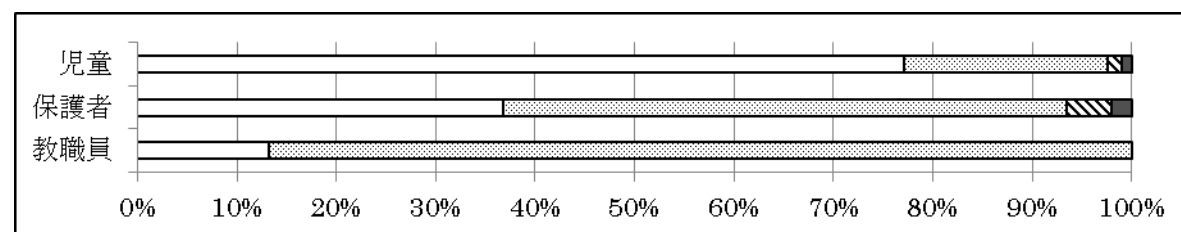


児童・保護者の約12～17%が「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。児童の話をより一層注意して聞き取り、保護者と学校との連携を進めて、相談にのりやすい雰囲気作りを進めていきたいと思ひます。

⑦学習が理解できている・学力定着を図っている

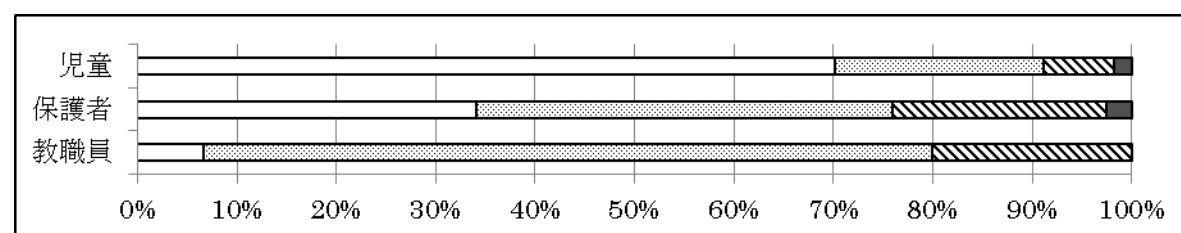


⑧授業がわかりやすい・授業を工夫している



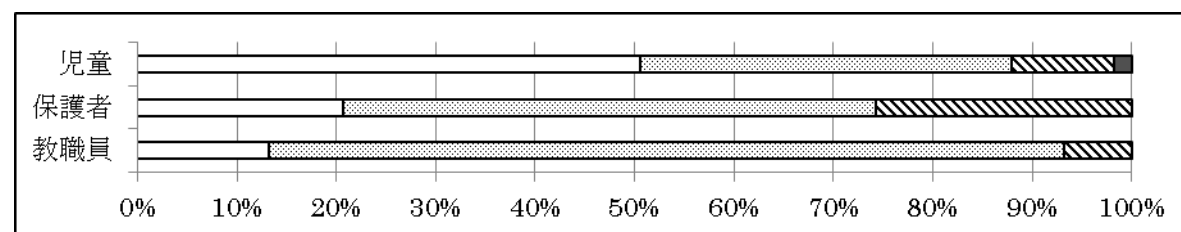
⑦⑧の項目で児童は高い割合で「そう思う」と答えていますが、教職員は、どちらの項目でも指導に関してあと一息と感じていることがわかります。より着実に児童の基礎基本の定着を目指して、授業の工夫に努力していきたいと考えています。

⑨進んで読書している・するように働きかけている・指導している



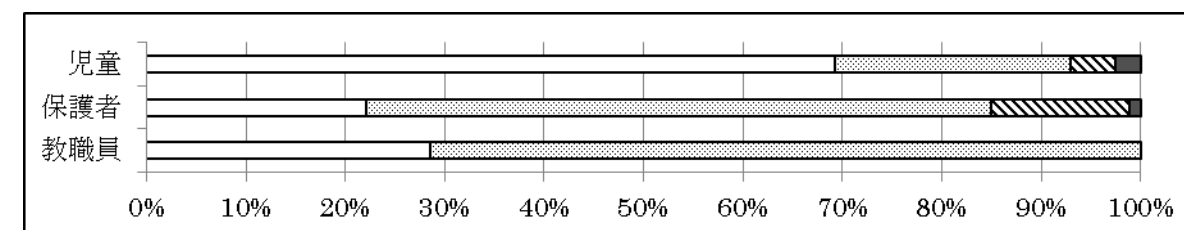
児童は熱心に読書を行っていると考えているようですが、大人側からは、もっと読ませたいと感じていると考えられます。特に教職員は「大体そう思う」の割合が高いため、より積極的に読書活動を進めて行けるように取組を進め、保護者にも読書の定着に対する働きかけをしていくことが大切であると考えています。

⑩授業中しっかり話を聞き、自分の意見が言える・身に付けさせている

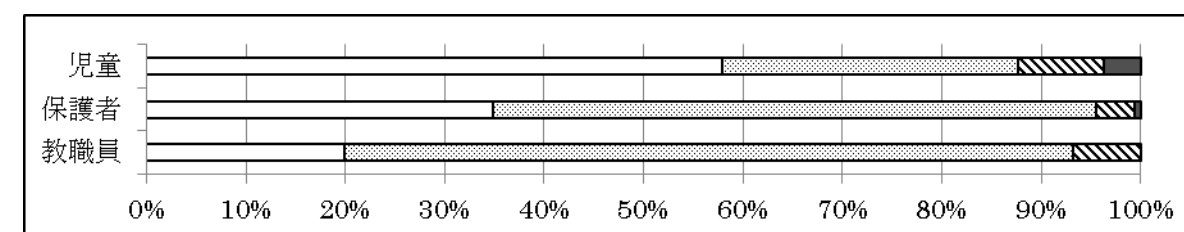


児童・教職員は約90%が「授業中話を聞いたり、自分の考えを発表したりしている」と回答しています。しかし、保護者は、約25パーセントが「しっかり発表できていない」と回答していますので、児童のコミュニケーション能力をより高める授業の工夫を進めて行きたいと思います。

⑪宿題・予習・復習などの勉強をしている・させている・定着をはかっている

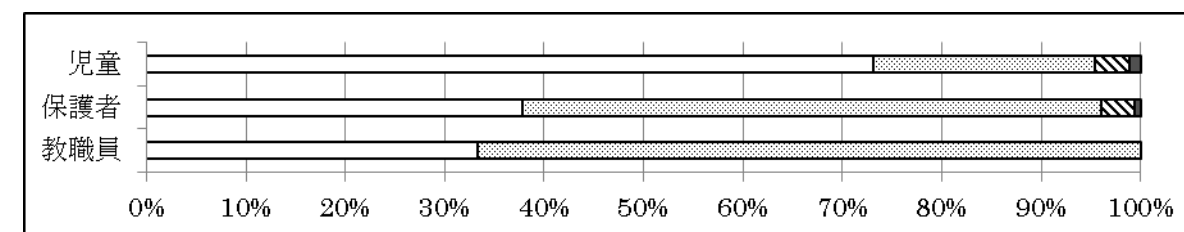


⑫基本的な生活がおくれている・しつけをしている・働きかけている

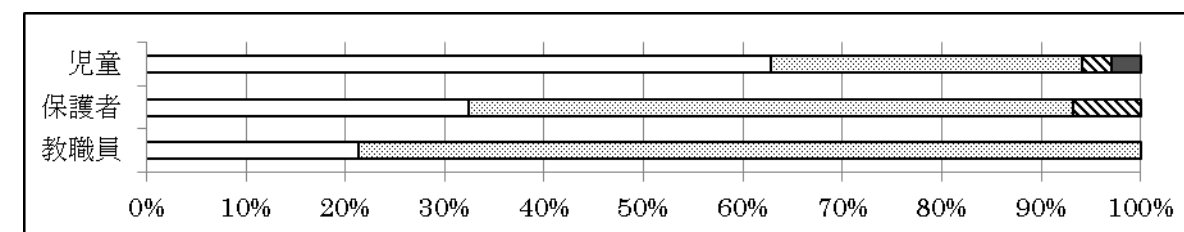


両項目ともに、児童は、ほぼできていると考えているようですが、保護者は、約14%が家庭学習に不十分な面を感じていることがわかります。それぞれの学年に相応しい量と質の家庭学習を子ども達にさせていけるように工夫していく必要があります。⑫については今後も家庭における「早寝・早起き・朝ご飯」の励行をお願いします。

⑬しっかり挨拶ができている・するように声かけをしている・指導している

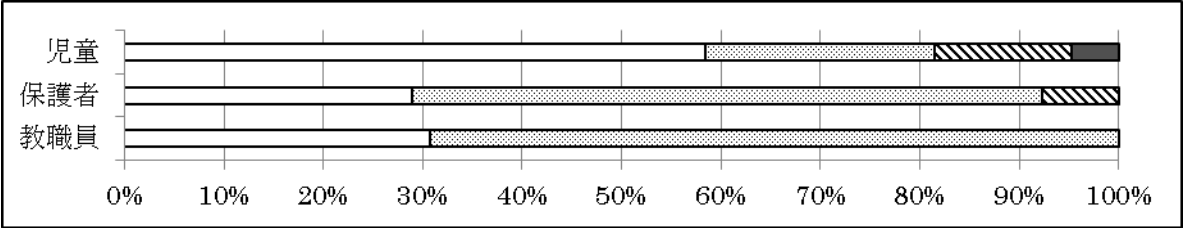


⑭正しい言葉使いをしている・働きかけている・指導している



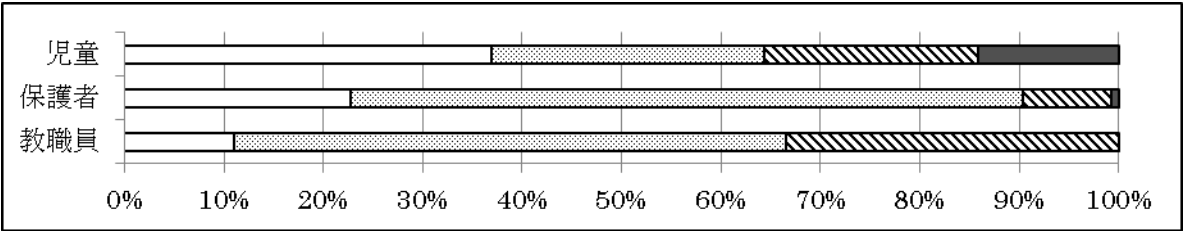
この両項目も「そう思う」の回答が、保護者と教職員では児童の約半数となっています。子ども達の「挨拶をしている、正しい言葉づかいをしている」という意識と大人の意識とは差があると思われます。今後も「いつでも、どこでも、だれにでも」同じように丁寧に挨拶をして話をすることを心掛けられるように指導していきたいと思います。

⑮学校での様子をよく話している・話をしてくれる・学校以外のことを聞いている



この項目も子どもと大人の意識に差があるようですが、児童の「あまりそう思わない・そう思わない」という回答の割合が高くなっています。学年が上がっていくと親子で学校の話あまりしなくなる傾向があるようですが、お互いにゆっくりと相手の話を聞くように心がける必要があると思われます。今後も、学年だより、学級だより等で保護者の方には学校の様子を丁寧にお伝えしていこうと思います。

⑯PTA行事によく参加している



児童と教職員の「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が多くなっています。児童も教職員も休日には様々な都合があり、うまく地域での行事等に参加できないこともあります。今後も下鴨小学校でのPTA行事、地域行事には、できる限り協力していこうと考えていますので、ご了承ください。

【自由記述欄にお書きいただいた主な内容】

- 学校での子ども達の様子、学校と家庭との連携などに関して
 - ・毎日楽しく通わせて頂き、ありがとうございます。(複数名)
 - ・楽しく学校へ通うことができとてもうれしく思います。色々なことに積極的に活動させて頂けたのも先生方のご指導のおかげだと思っています。
 - ・個性を大切にしていることで、子ども自身の力を発揮できていると思います。

- ・学校でのことを話している息子の言葉や様子、成長した姿から、どれだけ担任の先生を信頼、尊敬し、安心して楽しく学校に通わせて頂いているのかが伝わってきます。
- ・先生は、子どもたちが伸び伸びと育てるように、細やかに工夫されて学校生活をつくってくださっていると感じています。
- ・先生方には、本当に親身になっていつも相談にのって頂けて感謝しております。
- ・毎週の作文もよく見てくださり、コメントに愛情を感じます。
- ・毎日楽しく学校に行き、勉強面でも頑張っているのがわかるので、家庭でも応援しながら、先生にも感謝です。高学年になり、思春期に入ったけど、男女仲良いのは親が見ていて微笑ましいです。
- ・テストの点数には出てこない一人ひとりの良いところを見つけて救い上げてくださっている姿勢がうれしかったです。
- ・英語を日常的に使ってくださり、子どもが抵抗なく英語を受け入れており、特にリスニング力の高さには驚かされました。
- ・先日の授業参観で、落ち着いた教室の状況がとても気になりました。これまでも親子で悩み、学校にも何度も相談してきましたが、状況は変わらず、残り少ない時間ではありますが、子どもたちが楽しい小学校生活であったと心から思えるよう、お力添えいただけたらと切に願います。
- ・普段、物を大切にする、感謝の気持ちを持つこと等、話はしていますが、物がよく無くなったりしてしまうのは、本人の管理だけの問題ではないように思います。
- ・学校の体制も変わり、今まで子ども達のために色々と思案されていたのを感じていましたが、感じられなくなりました。先生方は個々に頑張って取り組んでいると思いますが、学校全体としては残念です。

○行事に関して

- ・充実した一年になったと思います。ただ、大文字駅伝だけは活動が消極化していく一方で残念なばかりです。
- ・修学旅行の行き先が広島から香川に変更されたことを残念に思います。

○その他

- ・学校の時計が止まったまま半月も直されず、子どもたちが困っていました。時間を見て行動することの大切さを学んでいるのに、学校側がきちんとしなければならないと思うのですが、残念でした。
- ・行事等のプリントで、日付や曜日の間違いが、改善されておらず気になります。

【自由記載に関して】

○学校での子ども達の様子、学校と家庭との連携などに関して

- ・学校での子ども達の様子、学校と家庭との連携などに関して、好意的なご意見をたくさん頂きましてありがとうございます。これを糧として、今後も教職員一同邁進努力していきたいと思ひます。
- ・本校では、日頃より一人ひとりを大切にしたい教育を目指してきていますが、教室の状況のことでご心配をおかけし申し訳ありません。どの子どもも安心して学習に向かえるよう、学習規律の見直しや指導法の改善に努めていきたいです。また、物を大切にすることは、人を大切にすることにもつながります。心の教育も大切にしていきたいと思ひます。

○行事に関して

- ・大文字駅伝については、京都市の小学校運動部活動ガイドラインに沿って、練習などを計画しました。以前より練習時間が少なくなりましたが、子どもたちが意欲的に活動していけるように励ましていきたいと思ひます。
- ・修学旅行については、防災教育の一環として、淡路島の震災記念館での見学を取り入れています。また、様々な体験学習も行い、充実した旅行になるように計画しています。
- ・平和学習については、社会科や総合的な学習の中で計画的に学習しています。

○その他

- ・時計に関しては、すぐに対応したものの、部品の取り寄せなどに時間がかかり、子ども達には、不便をかけました。申し訳ありませんでした。
- ・学校発信のプリント類については、不備のないよう、今まで以上に点検・確認を行うようにいたします。

【学校運営協議会での話し合いより】

- ・①の「学校が楽しい」の項目で、5%の子が不安を感じていることをきちんと受け止めていく必要があると考えています。
- ・⑥の「先生に相談できる」の項目で、児童の16.9%、保護者の12.1%がそう思っていないことを注意していかなければならないと思ひます。
- * この二つの事に関して、今後も丁寧に子どもの話を聞いていきたいと思ひます。
- ・⑩の「しっかり話を聞き、自分の意見が言える」の項目については、聞く・話すは、今後も頑張っていく必要があると思う。というご意見を頂きました。
- * 学校としても校内研究の英語・外国語活動の取組を通して、児童のコミュニケーション能力育成に力を注いでいきたいと考えています。
- ・「親もしっかりと子どもの話を聞いていかないとけない。」というご意見を頂きました。

* お忙しい中ではありますが、ご家庭でも子ども達の話をつくりと聞いて頂けたら有難いです。ご協力をお願いします。

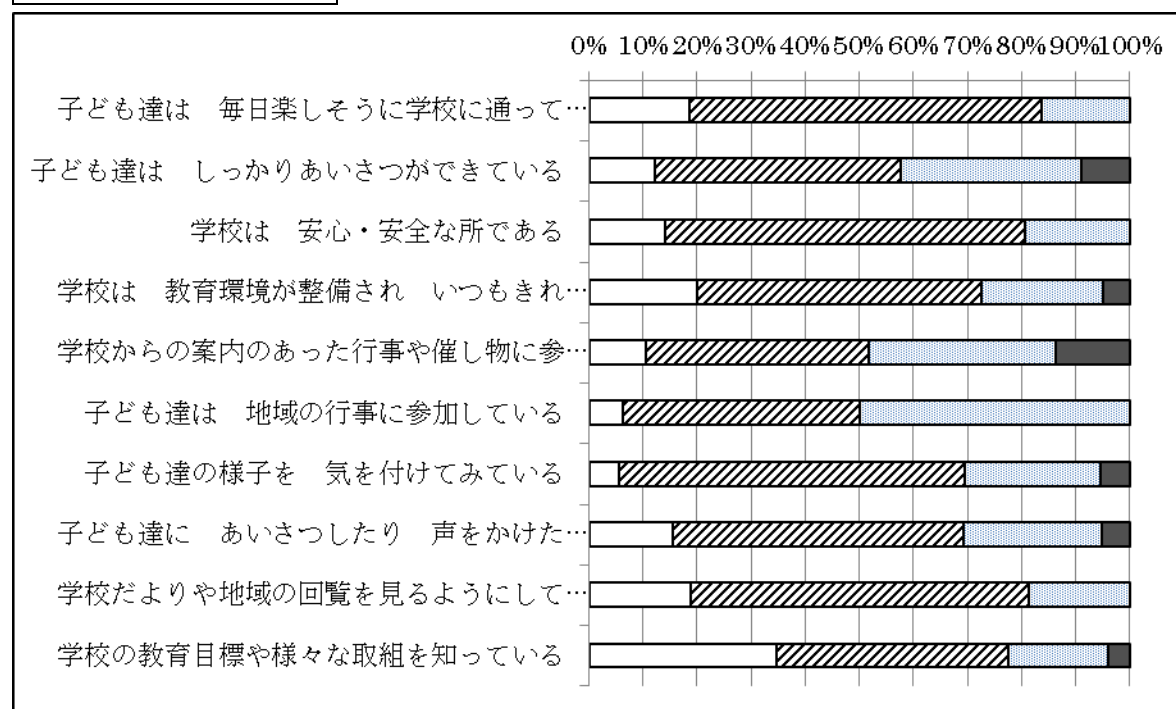
・「見守り隊も高齢化してきた、付き添っての送りは4月～5月くらいまでにして、それ以後は定点で出迎えることにしてはどうだろう。」というご意見を頂きました。

* この点については見守り隊の方々と話し合いを持ち、来年度の取組に反映させていきたいと考えています。

・⑮の「学校の話をする」の項目については、「高学年では、あえて少しぐらひ話さないことがあっても、自然な成長ではないだろうか。」というご意見を頂きました。

* 子どもの発達段階に合わせて、無理のない形で子どもとの対話を進めて頂けたらと考えています。

学校評価地域の方々より



【自由記述欄にお書きいただいた内容のまとめ】

- ・地域の運動会、秋祭りも多くの子供もが参加してくれていますので安心しています。
- ・見守り隊の活動について、入学当初は何もかも不安な一年生、2～3か月ぐらひは自宅近くまで送るとして、それ以後は危険と思われる場所で見守りしてはと、大半の意見です。見守り隊も高齢化して負担が重くなりました。
- ・地域の誇りである伝統行事や文化に子ども達を導いて頂き教職員の皆様方に感謝申し上げます。